



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月8日

上場会社名 株式会社東栄リーフアーライン 上場取引所 東
 コード番号 9133 URL <http://www.toeireefer.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 弘文
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鍋島 嘉六 TEL 03-5476-2085
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 －
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
28年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	5,227	△27.4	340	△43.3	371	△46.0	304	△35.9
27年3月期第3四半期	7,202	△1.0	601	36.6	689	53.6	476	90.7

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 260百万円 (△47.6%) 27年3月期第3四半期 498百万円 (92.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	52.48	—
27年3月期第3四半期	81.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
28年3月期第3四半期	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	13,049	4,374	33.5	752.86
27年3月期	12,108	4,200	34.6	722.96

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 4,374百万円 27年3月期 4,200百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 15.00
28年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
28年3月期（予想）	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 7,400	% △19.9	百万円 600	% △19.4	百万円 600	% △30.4	百万円 450	% △20.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(注) 詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） |

28年3月期3Q	6,050,000株	27年3月期	6,050,000株
28年3月期3Q	239,756株	27年3月期	239,684株
28年3月期3Q	5,810,291株	27年3月期3Q	5,810,316株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(2) 四半期連結貸借対照表	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策を背景として、全体として緩やかな回復基調であったものの、中国経済の減速などにより、景気回復には弱さが見られました。

このような状況のもと、当社グループの業績は平成27年11月9日に修正した業績予想数値の達成に向けて順調に推移しております。前年同期との比較においては、継続的に下落している燃料油価格も円安により燃油コスト削減効果は限定的であり、海運事業・貿易事業・洋上給油事業の各セグメントにおいては減収減益、船舶貸渡事業においては増収減益となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は前期比19億7千5百万円(27.4%)減収、営業利益は前期比2億6千万円(43.3%)減益、経常利益は前期比3億1千7百万円(46.0%)減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前期比1億7千1百万円(35.9%)減益と想定内の進捗となりました。

当第3四半期連結累計期間と前第3四半期連結累計期間の連結業績比較は以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	増減率(%)
(百万円)			
売 上 高	7,202	5,227	△27.4
営 業 利 益	601	340	△43.3
経 常 利 益	689	371	△46.0
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	476	304	△35.9

また、主なセグメントごとの業績は以下のとおりです。

セグメント(百万円)		前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	増減率 (%)
海 運 事 業	売 上 高	3,016	2,596	△13.9
	セグメント利益	665	502	△24.4
貿 易 事 業	売 上 高	1,867	1,281	△31.3
	セグメント利益	91	54	△40.5
洋上給油事業	売 上 高	1,923	934	△51.3
	セグメント利益	56	32	△41.8
船舶貸渡事業	売 上 高	395	414	4.8
	セグメント利益 又は損失(△)	22	△30	—

① 海運事業

海運事業につきましては、原油価格の下落を受け米ドルベースでの燃料費は減少したものの円安によりその効果は限定的でした。また第2四半期において南太平洋航路就航船舶に発生した不稼動の影響、運航隻数の減少などにより、前年同期と比べ減収減益となりました。

② 貿易事業

貿易事業につきましては、第3四半期連結累計期間は第2四半期連結累計期間と比べて売上高・セグメント利益ともに増減率は改善しておりますが、餌料販売業務において当社調達先の現地生産量が慢性的漁獲不振により減少し計画販売量に達しなかったこと、また在庫の船積みが第4四半期にずれ込んだことなどにより、前年同期と比べ減収減益となりました。

③ 洋上給油事業

洋上給油事業につきましては、漁船の操業海域変更に伴う給油需要縮小による販売数量の減少、また燃料油価格下落による販売単価の低下により、前年同期と比べ大きく減収減益となりました。

④ 船舶貸渡事業

船舶貸渡事業につきましては、前年同期と比べ円安効果により増収となったものの、第3四半期に実施した船舶中間検査による不稼動ならびにドック費用の増加などにより、セグメント損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億4千万円増加し、130億4千9百万円となりました。このうち流動資産は、前連結会計年度末に比べ8億6千8百万円減少し、66億6千8百万円となりました。これは、現金及び預金が5億3千6百万円、商品及び製品が2億6千7百万円増加したものの、その他に含まれる短期貸付金が11億6千3百万円、立替金が3億3千万円減少したことなどによるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ18億9百万円増加し、63億8千1百万円となりました。これは、有形固定資産の船舶が18億5千万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ7億6千7百万円増加し、86億7千4百万円となりました。これは、流動負債で短期借入金1億3千2百万円、未払法人税等2億1千8百万円などが減少したものの、固定負債で長期借入金が12億7千9百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億7千3百万円増加し、43億7千4百万円となりました。これは、利益剰余金が2億1千7百万円増加したことなどによるものです。

この結果自己資本比率は、前連結会計年度末より1.1ポイント減少し33.5%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期(連結・個別)の業績予想につきましては、平成27年11月9日に公表した通期業績予想に変更はございません。

配当予想につきましても期末12円配当に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
海運業収益	3,412,251	3,010,564
海運業費用	2,556,400	2,349,927
海運業利益	855,851	660,637
貿易業収益	1,867,310	1,281,776
貿易業費用	1,685,248	1,132,988
貿易業利益	182,062	148,787
洋上給油事業収益	1,923,010	934,851
洋上給油事業費用	1,855,335	899,812
洋上給油事業利益	67,674	35,039
売上総利益	1,105,588	844,463
販売費及び一般管理費	504,105	503,979
営業利益	601,482	340,484
営業外収益		
受取利息	62,507	60,916
受取配当金	2,959	3,192
為替差益	24,569	7,675
その他	72,543	8,589
営業外収益合計	162,579	80,373
営業外費用		
支払利息	68,045	40,657
その他	6,316	8,272
営業外費用合計	74,361	48,929
経常利益	689,701	371,928
特別利益		
投資有価証券売却益	—	25,069
特別利益合計	—	25,069
特別損失		
固定資産売却損	393	—
固定資産除却損	—	174
特別損失合計	393	174
税金等調整前四半期純利益	689,307	396,823
法人税、住民税及び事業税	219,871	6,099
法人税等調整額	△6,860	85,792
法人税等合計	213,010	91,891
四半期純利益	476,296	304,931
親会社株主に帰属する四半期純利益	476,296	304,931

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	476,296	304,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	24,175	5,741
繰延ヘッジ損益	△9,036	△47,157
為替換算調整勘定	7,091	△2,633
その他の包括利益合計	22,230	△44,050
四半期包括利益	498,527	260,881
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	498,527	260,881
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(2) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,903,388	2,439,545
受取手形・海運業未収金及び売掛金	1,596,551	1,447,145
商品及び製品	175,491	443,327
原材料及び貯蔵品	263,370	202,999
その他	3,604,782	2,140,056
貸倒引当金	△6,716	△5,034
流動資産合計	7,536,869	6,668,039
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	3,304,982	5,155,842
その他（純額）	216,409	14,545
有形固定資産合計	3,521,391	5,170,388
無形固定資産	43,201	33,075
投資その他の資産		
その他	1,007,303	1,178,299
貸倒引当金	△646	△703
投資その他の資産合計	1,006,657	1,177,595
固定資産合計	4,571,250	6,381,060
資産合計	12,108,119	13,049,099

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
海運業未払金及び買掛金	978, 167	849, 785
短期借入金	1, 473, 204	1, 340, 304
1年内償還予定の社債	40, 000	40, 000
未払法人税等	218, 656	636
賞与引当金	94, 766	48, 606
役員賞与引当金	50, 000	—
その他	779, 971	1, 006, 041
流動負債合計	3, 634, 766	3, 285, 374
固定負債		
社債	50, 000	20, 000
長期借入金	3, 884, 013	5, 163, 290
特別修繕引当金	91, 548	5, 628
退職給付に係る負債	153, 163	151, 347
その他	93, 973	49, 108
固定負債合計	4, 272, 697	5, 389, 373
負債合計	7, 907, 464	8, 674, 747
純資産の部		
株主資本		
資本金	890, 000	890, 000
資本剰余金	961, 593	961, 593
利益剰余金	2, 328, 072	2, 545, 849
自己株式	△49, 151	△49, 181
株主資本合計	4, 130, 513	4, 348, 261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	52, 336	58, 077
繰延ヘッジ損益	6, 260	△40, 897
為替換算調整勘定	11, 544	8, 910
その他の包括利益累計額合計	70, 141	26, 090
純資産合計	4, 200, 654	4, 374, 351
負債純資産合計	12, 108, 119	13, 049, 099

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	海運事業	貿易事業	洋上給油 事業	船舶貸渡 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,016,958	1,867,310	1,923,010	395,292	7,202,571	—	7,202,571
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,016,958	1,867,310	1,923,010	395,292	7,202,571	—	7,202,571
セグメント利益	665,492	91,315	56,296	22,252	835,357	(233,875)	601,482

(注) 1. セグメント利益の調整額233,875千円には、セグメント間取引消去12,150千円、各報告セグメントに配分していない全社費用246,025千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	海運事業	貿易事業	洋上給油 事業	船舶貸渡 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,596,128	1,281,776	934,851	414,436	5,227,192	—	5,227,192
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,596,128	1,281,776	934,851	414,436	5,227,192	—	5,227,192
セグメント利益 又は損失（△）	502,459	54,288	32,715	△30,981	558,483	(217,998)	340,484

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額217,998千円には、セグメント間取引消去13,950千円、各報告セグメントに配分していない全社費用231,948千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。